

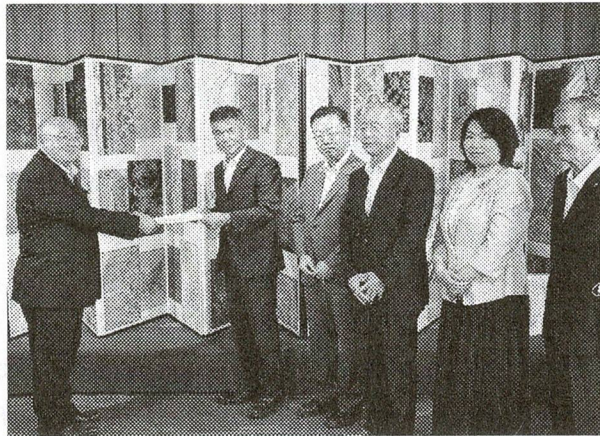
新型コロナ対策に緊急の 申し入れ

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

日本共産党奥州市委員会（千田みつ子委員長）は、8月9日、倉成淳奥州市長に対し「新型コロナウイルス感染拡大の11波への対応についての緊急申し入れ」をおこないました。この「申し入れ」は奥州市内で新型コロナウイルスの感染が急拡大しているもとで、市民の命と健康を守るために行われたものです。市当局から、小野寺隆夫副市長、高野健康子ども部長ほか関係課長が応対しました。



奥州保健所管内では、

5週続けて県内最大

日本共産党の奥州市議団からは「8月7日公表の岩手県の感染状況は、1定点医療機関あたりの患者数14・27人、特に奥州保健所管内では31・71人で、5週続けて

県内最高の数字」になっていることが強調されました。そのために、「科学的で正確なデーターを示し、市民に積極的に情報発信すること」や「基本的な感染防止対策の徹底を図ること」「新型コロナ治療薬の自己負担への助成措置を国に強く求めること」など6項目を要請しました。

県とも連携して、国に

声を挙げていく

これに対して、当局は「県の対策本部自体がなくなっている。感染症情報センターの数字を把握して公表している」などの実情を述べるとともに「国に対して声を上げていく必要は感じていて、県とも連携して対応していきたい」と答えました。

申し入れ全文は裏面に掲載

8月15日

79回目の終戦記念日

～市内各地で不戦の訴え～



胆沢



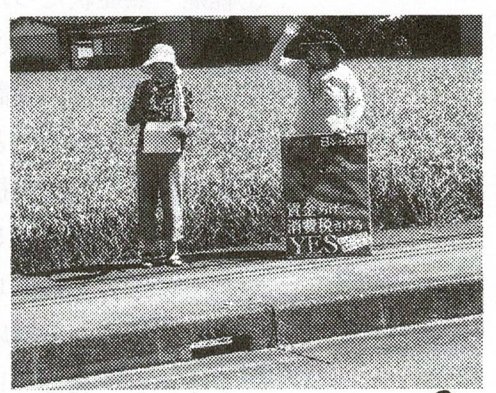
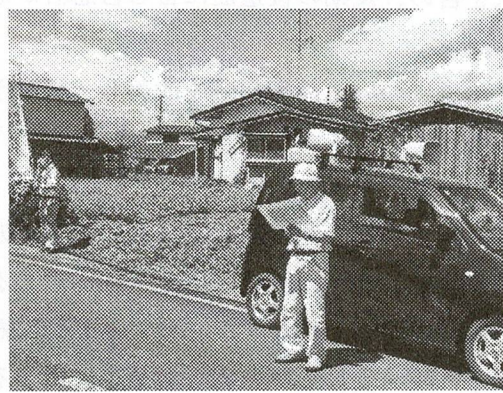
衣川



江刺

8月15日は79回目の終戦記念日でした。暑い中、16名が参加し、市内44カ所での平和の大宣伝行動を行いました。

水沢



憲法9条を守り

戦争の準備ではなく

平和の準備を！